

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－31

学校名・団体名	いわき市立藤間中学校
HPアドレス	http://www.cms-fujimajh.gr.fks.ed.jp/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	授業・集会活動における学び合い・話し合い活動の 活性化
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校では、2年前より『「学び」「考え」「表現できる」生徒の育成』を重視して、教育実践を進めている。具体的には、授業や学年・全校集会においては、4人（あるいは3人）グループやペアでの学び合い・話し合い活動を行っている。そこで、この活動をホワイトボードを使い活性化し、さらに深め推進していきたい。その目的として、知識・技能をもとに表現力豊かな生徒の育成を期したい。</p>	

1 活動時期 平成27年8月~平成28年1月

国語・数学・英語・社会・理科・道徳の多くの時間、特別活動(集会活動)

2 活動内容

- (1) 授業において、1時間の中にホワイトボードを活用した学び合い・話し合い活動を行った。また、記載されたホワイトボードを提示して、発表した。
- (2) 集会活動において、ホワイトボードを活用して、グループ協議を行った。

3 成果及び子どもたちへの効果

授業や集会活動において、学び合い・話し合い活動を活性化したことにより、

- (1) 生徒の学力の確かな定着を図ることができてきている。
教師の説明を理解し自力解決することにより一度学習する。そして、ホワイトボードを活用した学び合い・話し合い活動を通して、二度目の学習をする。この一連の学習により、学力の確かな定着を図ることができてきている。
- (2) 生徒の表現力が育成されてきている。
生徒は学び合い・話し合い活動の内容が記載されたホワイトボードを用いて、発表することにより、表現力を伸ばすことができてきている。
- (3) よりよい人間関係づくりができてきている。
 - ① 学び合い・話し合い活動をするにより、多様な考えを知ることができた。
 - ② KJ法を行うことにより、力のある者だけに頼るのではなく、関わり合いを深めることができた。
 - ③ 本校は複数の小学校から入学してくる。ホワイトボードを活用した活動を通して、新しい人間関係づくりをすすめることができた。

(4) 地域貢献の意識が高まった。

震災以降、生徒たちは、地域のために何かしたいと考えている。学区内には津波の被害・原発事故により仮設住宅が建ち、そこに、海岸線付近や福島原発付近に住んでいた方々が住んでいる。また、先日まで校地内でも $0.5 \mu\text{S/h}$ を示す地点があり、学区内には、 $0.7 \mu\text{S/h}$ を示す地点もある。

そこで、生徒たちは、集会活動において、地域貢献について、グループごと何ができるかを話し合った。言葉だけでは、すぐに忘れてしまうが、ホワイトボードに書き、「可視化」を図り、具体的な内容に掘り下げていった。この活動だけでも、地域貢献の意識は高まった。さらには、実際に活動し、また、反省の際に、このホワイトボードを活用した。この話し合いにより、防潮林へのクロマツの植樹活動等を展開している。

(5) ホワイトボードを使った活動が広がっている。

ホワイトボードを使った活動が、教育機関にて報告することにより、市内各小中学校に広がっている。黒板、ノート、模造紙以外にもホワイトボードというアナログなツールが、生徒たちの成長により影響を及ぼすという考えを普及させることができた。予算がなく、パソコン、タブレットを購入できなくても生徒たちの考えを提示できるツールがあるということを広めることができた。

